

自治会餅つき大会



浅久保連合会



協和会



東輝



向山



四晴会



大和会



二軒新田



白区



白三西牛房



シーアイハイツ和光



DIKマンション和光



越後山

編集後記

大野 忠(南上町会)

2020年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック開催の年が明けました。嬉しいことに和光市は、射撃競技の開催会場となり、聖火リレーもやってきます。また、3月下旬には和光市駅直結「エキアプレミアム和光」がグランドオープン。和光市は、更に活気あふれる街、暮らしやすい街へと変貌していきます。

本年も、自治会連合会が地域コミュニティの中心として、人とのつながりを大切に街づくりの先端を担って行きたいと思っております。

広報編集委員

- 大野 忠(南上町会)
- 加山 秀夫(白三泉)
- 福西 真司(委員長 和光会)
- 飯田 久夫(浅久保上町会)
- 星谷 光市郎(わだち会)

問合せ：和光市自治会連合会事務局(和光市総合福祉会館内)

☎048(463)0104

自治連へのご要望は▶e-mail:wako.jichiren@wakokyo.net

回覧板をご希望の自治会に配布しています。
事務局までお問い合わせください。



和光市
自治会連合会
自治連

わこうち

令和2年
2月1日
26号

第2回クリーン・オブ・和光



ご協力ありがとうございました。

11月17日

参加自治会数 **84**自治会
参加者 **5,049**人
回収ごみ量 **7,700**kg
可燃ごみ…6,120kg・粗大ごみ…1,580kg



新年のごあいさつ

和光市自治会連合会 会長 木田 亮



令和2年の年頭にあたり、謹んでご祝詞を申し上げます。

自治会連合会の会員の皆様には、連合会活動にご支援・ご協力を賜り心から感謝しております。お陰様で、昨年の事業も順調に推進することができ、新たな年度に向かい計画の作成に取り組んでいるところであります。2020年はオリンピック・パラリンピックが東京で開催され、飛躍の年となることが期待されます。このような時に、連合会としても充実した事業の推進に努めてまいります。

和光市は人口が増加し、世帯が増え、発展する都市として期待されるところであります。その反面、自治会加入率が低下してきていることも大きな課題となっております。このことから、加入促進事業として自治会優待カードの新たな配布をはじめ、総務部会、防犯・防犯部会、環境部会、福祉・保健部会、文化・体育部会の各部による講演会、研修会、先進地視察等を実施し、魅力ある自治会づくりに積極的に取り組んでまいります。また、自治会間の交流を深めるためのレクリエーション等も検討してまいります。いずれにいたしましても、自然災害による被害から二次災害のライフラインの停止等、想定できない災害に対応する地域づくり、安心安全なまちづくりのためには、地域の連携、絆づくりが必要であります。

自治会連合会は、多くの皆様の加入をお待ちするとともに、充実した事業の推進に努めてまいります。本年が会員・市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

和光市長 松本 武洋



あけましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

自治会連合会・加盟自治会の皆様には、日頃から地域コミュニティの中心にあって、地域づくりや市政と地元の皆様との確かな架け橋としてご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

地域の課題を地域の互助により解決する組織として、平成28年度から推進してまいりました地区社会福祉協議会においては、現在5地区が設立しております。本年2月には、第四小学校区が設立する予定です。自治会の皆様とのさらなる緊密な連携により住みよいまちづくりに尽力してまいります。

さて、本年は、市制施行50周年を迎えるとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会射撃競技が朝霞駐屯地で開催されるなど、記念すべき年となります。3月には、東武鉄道株式会社による駅南口のホテル一体型商業施設が完成し、南口に新たな賑わいが生まれます。7月7日には、和光市・朝霞市・新座市をルートとするオリンピック聖火リレーが行われます。スタート地点である和光市役所では、パフォーマンス等も予定されており、皆様とともに聖火リレーを盛り上げてまいります。

そして、本年は、地域包括ケアシステムの再出発の年と位置付け、まちや人とのつながりを大切にし、原点に立ち返った福祉のまちづくりを進めてまいりますので、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに皆様の本年のご多幸・ご健勝を祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

10月 28~29日 **令和元年度県外視察研修報告** 山梨県韮崎市方面

和光市自治会連合会に加入している自治会は101自治会と大きな組織になっています。

各自治会では、祭りや防犯・防災活動、美化運動等それぞれ創意工夫をして計画がなされ、多くの会員が活動に参加しております。

しかしながら、和光市は住民の流動性が高く、自治会加入率を見ても、会員数の変化はそれほど大きなものとなっていないが、流入人口の増加に伴い加入率は年々減少している状況にあります。また、加入世帯の高齢化が進み、自治会の存在意義や加入メリットは何か問われるようになってきているところでもあります。

そこで今回、自治会連合会が掲げる「自治会で、ふれあい、交流、助け合い」を目指す上からも、今地球規模でおきている大災害時における助け合いの心を充実させるための方策を探るべく、各自治会が、自主防災組織を積極的に取り組む意識の高揚を図るため、先進市であります韮崎市の活動に着目し、研修を実施いたしました。

それでは、韮崎市が取り組んでいる活動について紙面の都合上概要になりますが、報告させていただきます。

韮崎市は、日本のほぼ中心に位置する山梨県の北西部に位置し、面積が143.69km²、人口約29,500人、世帯数約12,700世帯の規模で「武田の里・サッカーのまち」として発展している市であります。

お話によりますと、昭和34年の伊勢湾台風により、大きな人的被害を含む災害に見舞われ、その後阪神淡路大震災、東日本大震災、豪雨による災害などが日本全国で発生し、このことを教訓として、減災力の強いまちづくりに取り組むため2012年3月に「減災力の強いまちづくり宣言」、同時に地域減災育成リーダー講座を開設し、特定非営利活動法人・減災ネットやまなし、韮崎消防署の協力を得て、事業を展開してきたそうです。現在研修等を通じてリーダー公式認定者数が、一般333名、職員90名、消防団84名、高校生91名の598名に達しているそうです。

ただ育成の課題としては、女性のなり手が少ないことと、若年層の割合が低いことだそうです。

今後は、地域の人材（コミュニティ）の育成、住民意識の向上を充実し、地域の減災力の底上げを図りたいとのことでした。



韮崎市役所

平成25年度から特定地区総合防災訓練を地域減災リーダーを中心として地区ごとに毎年行っているそうです。

次に、特定非営利法人減災ネットやまなしの向山建生理事長から平成に発生した自然災害の教訓をとおして、「今、私たちに求められること」と題して、懇切丁寧に説明していただきました。

- その教訓として、
- 1 自分の命と財産は自分で守る
 - 2 自分が助かったならば、互いに助け合い、しばらく凌ぐ力をつける
 - 3 要配慮者を優先避難させる仕組みを作り、徹底する
 - 4 指定避難所は、そこに避難した住民が主体に開設・運営する
 - 5 普段の整備と訓練を怠ると、いざという時に生活再開が出来なくなる

との教訓を戒めにして取り組むことが大切であると痛感いたしました。

その他、ゆめソーラー館やまなし、山梨県立リニア見学センターに行き、次世代エネルギーの開発システム、新時代に向けた交通システムを視察してまいりました。

今回の研修を通して、当市では、大きな災害に遭遇したことがここ数年ありませんが、普段生活している中で、地域の繋がりの重要性を感じる事が少ないかもしれませんが、いざという時に備えて日頃から隣近所を誘って、活動に参加する意識を持つことの大切さを学んだ視察研修でありました。



ゆめソーラー館やまなし



山梨県立リニア見学センター



11月 4日 **きもの散歩**

天候に恵まれ多くの方が参加して盛大に行われました。



11月 23日 **ゆめあい和光まつり**

今年もゆめあいスタンプラリーの決勝ゴールを担当いたしました。あいにくの天気でしたが、多くの方が来場しました。景品をくじ形式にしたところ、大変好評で、子どもたちの笑顔がとても素敵でした。



※社会福祉協議会提供

11月 10日 **和光市民まつり**

朝霞警察生活安全課の皆さんと振り込め詐欺の被害にあわないよう注意する啓発と自治会加入推進チラシを配布しました。



12月 15日 **防犯パトロール**



参加自治会 52自治会
参加者数 303名

